

平成 27 年 7 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

7 月の業種別景況の D I 値は、13 業種の内 4 業種が好転しており、6 月には 5 業種が悪化していたが、7 月は悪化した業種は無く横ばいの状況で推移している。

一般機械、輸送機械、小売業、商店街では受注や売り上げが伸びている部門もあれば低迷している部門もあり、まだら模様の状況が続いている。

このような中、食料品やサービス業等では NHK 大河ドラマ“花燃ゆ”、明治日本の産業革命遺産の世界遺産登録等による更なる経済効果に期待をしている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 27 年 7 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：23.8% DI 値：▲16.3% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）



前年同月比は、増加：12.5% 減少：28.8% DI 値：▲16.3% ポイント





収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）


前年同月比は、好転：5.0% 悪化：25.0% DI 値：▲20.0% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 27 年 7 月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲57.1	▲25.0	▲33.3	▲100.0	0.0	22.2	0.0	▲18.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業
▲20.0	▲22.2	▲50.0	▲8.4	0.0	▲14.3	▲14.9
						

全 体
▲16.3


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	<p>プレミアム付商品券によって売上が上がったということは特にはない。自治体によりプレミアム金額や発行の形態が相違しているが、どの地区も同様の傾向である。</p>	パン・菓子製造業
	<p>6月は対前年同月比+22%。7月は7/26時点で昨年同月の売上をクリア、最終+15%程度的大幅アップを予測。NHK大河ドラマ「花燃ゆ」効果に加え、世界遺産登録で今後も好調に推移する見込みで、当館に近い反射炉と造船所には、当館前からシャトルバスが定期運行、パークアンドライドで利用するお客様も多い。メディア露出も引き続きTV・新聞・雑誌と高水準。当館への行政視察団体数も現時点で40組700名を越え、萩市での宿泊を視察の受け入れ条件としているため、地域波及効果も見込める。</p>	水産食料品製造業 萩市
	<p>販売量の減少が続いており厳しい。業界によっては景気回復の話も聞くが、小売りは悪化しているのではないかと懸念されている。今年も原料が上がっているが、価格転嫁は非常に難しい。県内産の「うに」が採れない。「うに」が少ないのもあるが、漁業者の高齢化も一因にあると聞いている。行政を含めた統括的な対策が必要。</p>	水産食料品製造業 下関市
	<p>円安のため、原材料の価格が高騰している。</p>	水産食料品製造業 下関市
	<p>6月の長雨の影響で、稲の病虫害の発生など、作物の生育状況が遅れ気味となっている。また、米あまり基調の中で、TPP農業交渉による米の輸入自由化の報道もあって、米の取引価格の低下についても、回復するような傾向ではなく、このままでは、米の生産の継続ができなくなる生産者が増えることが引き続き懸念されている。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>主力販売取引先の販売不振に若干だが好転の兆しがあり、4～5月に比べ6月の売上は増加し、7～9月の操業日数は6日間増やして増産の体制をとっている。7月の売上も10%のUPを見込んでいる。外国人技能実習生受入れは、中国人の募集が困難になり2月度よりベトナム人実習生が入国している。現在、中国人43名、ベトナム人13名の計56名。ベトナム人実習生とのコミュニケーションに問題があり、通訳専門スタッフの雇用を早々に検討している。年々、実習生の技術力、語学力が低下しており、</p>	下着類製造業

	優秀な人材の確保が難しくなっている。	
	5月末に破産した企業の萩市内にある2工場は岡山県の会社が買い取り、再稼働に向けて活動している。	外衣・シャツ製造業 山口市
	真冬の商品や春物の生産には少し早い端境期の為、9～10月から受注が厳しくなる模様。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	新設住宅着工数は、低調のままで推移。木材価格はやや下降傾向。	製材業・木製品製造業 山口市
	「公共建築物等木材利用促進法」に沿って長門市より発注は出ている。民間の需要が回復して来ない状況。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	業界全体で既に3兆円規模の売上が減少していることから、紙媒体からデジタル媒体への3兆円規模のシフトが進んだと解釈できる。いかにデジタル媒体での供給事業に各社参入できるかが生き残りの道であるが、なかなか進んでいないのが実情。7月の受注状況は、夏枯れの時期に入り良くない。	印刷 下関市
	7月の売上高は昨年と比べると横ばい。ただし、昨年の受注はなくなり、新たな物件を安く受注したため、粗利は減少している模様。	印刷 山口市
窯業・土石製品	骨材は相変わらず売上が伸びないが、路盤材・再生材は徐々に出ている状況。	砕石製造業
	出荷量は、前月比111%、前年同月比101%。岩国地区の工事の本格化に伴う出荷量増により、県全体の出荷量を押し上げた。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。下関地区で値上げの動きが継続、周南地区でも値上げの動きがある。	生コンクリート製造業
	お盆までにとという要望が多く、この時期は毎年忙しくしている。急に暑くなってきたので、熱中症予防を呼びかけている。	石工品製造業
一般機器	天候不順のため操業度が低調となり、収益がやや悪化している。	一般機械器具製造業 周南市
	設備機械製造の組合員は東南アジアからの受注が停滞しかかっている。慢性的な人手不足が続いている。7月の景況は、前月に引き続き概ね順調だが、海外取引の企業では受注難のところがある。	一般機械器具製造業 防府市
	従来からの機械製造関係、食品加工、スーパー等に加え農業、食肉加工業からも人手不足から外国人技能実習生受け入れ増員の相談あり。制度改正により介護の受け入れが可能になるとの情報から、介護施設からの問い合わせも増えている。また、ベトナム、インドネシアへの事業展開を考えている企業からも相談あり。	一般機械器具製造業 宇部市

	<p>5、6月出荷分の売上が7月に入り売上は増加。海外向けの納入検収が終わり8月の売上も見込める状況。6、7月の受注低迷の影響と思うが設備稼働度は6月同様に残業をしないやや低迷状態で、特に、放電加工機、ワイヤー加工機の稼働率が下がっている。また、金型の加工量は有るが低価格ため利益が少ない状況。現在は、見積り依頼も増えてきているがいかにかコストダウンをして短納期化が出来るかが鍵で、特殊樹脂対応の金型生産では、今までの経験をフル活用して対応する予定。成形製品は新規や移管金型の生産等一部の製品では設備稼働率が上昇しているが、全体的には、民生部品（家電部品、電子部品）の伸び悩みもあり、稼働率は前年より減少している状況。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>車両部門は今後波があるかもしれないが、右肩上がりで作業量が伸びる見込み。精密加工部門は半導体業界が低迷しており年末商戦まで低空飛行の模様。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>天候不順により夏物商品の売上げへの影響が懸念される。</p>	各種商品卸売業
	<p>「いりこ」は、長門中心の“山陰もの”の入札も予定通りで、大島中心の“山陽もの”も順調に入庫しているが、相変わらず価格が高い状況。これからは台風の影響が心配。</p>	乾物卸売業
	<p>梅雨時期は時化が多く入荷が少ないため、どうしても収益が上がらない。お盆等で多少売れ行きが上がることに期待している。ウナギは安くなると予想されていたが高騰。</p>	生鮮・魚介卸売業
小売業	<p>化粧品販売はメーカーの美容部員等の来店により大きく左右されるが、最近入店数が減らされており各店の売上が下がっている。1メーカーのみの取扱店では特に影響が大きい。</p>	化粧品小売業
	<p>組合員の売上は6月と変わりが無い。猛暑で商店街の人出がまばらであるが、プレミアム付商品券の効果が多少あり、地元海水浴場「潮風公園」が盛況で出店業者の売上が増加している。地区内の中小企業者の動向は、福祉関連施設が開業予定だが、従業員の確保に苦労している。倒産情報も当地域では最近聞かないので、景況感が多少良くなって来た模様。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>中心市街地整備計画の駅周辺工事が本格化して、新駐輪場完成、旧駅ビルの解体着工、駅前ロータリーの交通規制変更等が開始された。</p>	各種商品小売業 周南市
	<p>売上全体では、前年同月比プラスマイナスゼロの状況だが、高額品、高級品等は前年同月比プラスとなっている。好況とはいかないが全く不況でもない。</p>	各種商品小売業 山口市

	昨年、酒のディスカウント店が退店。7/4に同様の酒のディスカウント店が新規開業したが、売上、客数共に前年を僅かに下回る結果となっている。	各種商品小売業 長門市
商店街	夏物バーゲン、中元ギフト商戦で多少の活気が出たが、売上の好転とまでは遠い状況。特に買上げ点数が伸びていない。	山口市
	7月はイベントで飲食店の売上が多少増加したが全体的には厳しい状況。時節柄、提灯・玩具店の売上は伸びている。古具や焼物・雑貨は、地元の客も少ない日常は売上が上がらないので、作家の展示等のイベントを行うと県内外の観光客等も来て売上が上がる状況。各店、8月のお祭りに向けて売上の向上のため頑張って準備をしている。	萩市
サービス業	プレミアム付商品券は、大きな物を買う予定の者は多く購入しているみたいだが、大方の人は購入する現金がないと言ってあまり買っていない模様。当組合でも取扱加盟店となっている組合員が少ない。	美容業
	規制改革が検討されているが、理容師、美容師の見直しにより理容業界も更に厳しい環境下となる事が予想される。そのための対策が必要。	理容業
	近年、高度な電子制御技術が搭載された自動車が増加している。業界では新技術に対応できる人材、診断機等の設備を備えた「コンピュータシステム診断認定店」の認定・育成に力を入れている。	自動車整備業 山口市
	現場技術者が、メーカー、大手に流れており不足している。	自動車整備業 山口市
	新卒・中途・パートの全てにおいて人手が不足気味である。	スポーツ・健康教授業
	宿泊人員及び売上高ともに好調に推移し前年をクリアしている。一部のホテルに限定されているが世界スカウトジャンボリーの効果が出ている。	旅館業 山口市
	雇用状況はハローワークに登録しても問い合わせもない状況。時給を上げても反応が少なく改善策にも苦心している。下関地域の宿泊は、NHK大河ドラマ、世界スカウトジャンボリーの効果だけでなくビジネス客も増加しており景況自体は好調。	旅館業 下関市
	入浴者数は前年同月比で若干の減少、景気動向は悪化傾向が継続しており、収益の好転は望めない。猛暑日の影響等もある。	旅館業 長門市
	後半の猛暑により客足が減少。「世界スカウトジャンボリー」に期待するも今一つ盛り上がりには欠けた。また、「ねんりんピックおいでませ！山口2015」についても各地域が対応するため地域での温度差がある。県の観光振興策に対応できるよう、受け入れ対策としての飲食業界の特色を発揮する必要があ	飲食業

	<p>る。また、9月に実施予定の組合設立50周年記念「大抽選会」事業に全力を傾けているので8月にかけては全域で多少の好転が見込まれる。結果次第ではあるが自力によるイベントの実施に弾みをつけて行きたい。</p>	
	<p>天候不順によりクリーニングの需要が安定しない。気温の上昇により、毛布やカーペットなどの大物が漸く出始めた。梅雨明け後に毛布等が出ることに期待している。</p>	普通洗濯業
建設業	<p>山口支部の中電への工事申請は6月130件、前年同月144件。太陽光発電への申請21件、オール電化申請69件（前年は太陽光30件、オール電化35件）、LED街路灯への切替・新設申請は40件（前年は32件）であった。</p>	電気工事業
	<p>今春以降、工事量は東部地区を除き減少している。決算状況も一部の事業所を除き、多くは僅かな改善に留まっている。技能者の減少に歯止めがかかっているものの団塊の世代の退職によりここ数年で更に進むものと思われる。（左官の技能者 1980年30万人 2010年9万人 2015年7万人程度）</p>	左官業
	<p>上関地区のみが中電の民間工事、山口県、上関町からの発注によりまあまあの状況で、他の柳井、平生、田布施地区は極端に少ない状況、周南地区も昨年より少ない模様である。公共工事の発注が無いと民間工事も動かない。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>27年7月の受注高は、対前年同月比600%。今年度の累計は、対前年比23%。</p>	土木工事業 萩市
	<p>昨年より少し時期が遅れて管工事の入札が始まり、一時期にたくさん入札があった。もともと競争が激しく入札価格が下がっているところに、土木の仕事が少ないからと土木関連の企業も入札に参加するため、益々競争が激しくなり落札の出来ない企業もある。落札出来ても価格が低いため、忙しい割に思うように収益が上がらない。人材不足は続いているが、今現在の人員でなんとかこなしている。</p>	管工事業
運輸業	<p>円安、ドル高等による不安定要素が災いしているのか、鉄鋼素材等の流通は、国内外とも低調。売上は前年同月比▲24%。燃料費は前月と変わらないが、軽油引取税の引下げを希望している。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>7月の稼働は前年同月比で10%程度の増加している。輸出の関連が順調に推移し受注に繋がっている。値上がり基調にあった燃料費も若干下がり気味となっている。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市

<p>運送業界では2月と8月は荷動きが少ない月であり、当組合の運送部門も御多分に漏れず仕事が少ない。しかし時期的な影響を除いても、業界全体の仕事が著しく減ってきている気がしている。燃料価格は高止まりが続いていたが、ここ数週間で若干の値下がりを見せている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
<p>今月も天候不順であったが、ETC事業は順調であった。無事故で頑張っている組合員の努力に感謝している。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下関市</p>
<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比で6/1～7/20は▲3.5%。6/1～6/30は▲1.7%、7/1～7/20は▲6.4%。6月分は小幅な減少で、7月前半は増加傾向だったが、7/17～20の4日間で大幅な減少となった。当地区は工場等の企業中心で観光レジャーがあまりないため、工場や病院が休みの日曜祭日はタクシー利用が減少する事も要因だが、基本的に地方経済が回復状態でない事を表していると思う。6月分については、防府地区が▲11%、周南地区+2%、下松地区+6%、光地区0%と防府地区が減少した。主要燃料であるLPGは、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、為替は円安だが、ブタン、プロパンのCPは前月分よりもさらに下がり（前年830\$/トンが今年432\$/トン）購入単価は先月よりも安くなった。高騰していた前年7月に比べ22%安価になった。再び上昇する懸念はあるが、車両代や整備費用が上昇しているなか、燃料費が下がるのは大いに助かっている。売上減少に比例し乗務員の収入も減少しており、乗務員の確保がたいへん難しく、稼働台数も減少している。雨降りや台風などによる一時的な需要は、長期的に見ると個人消費を減退させることになり、企業の設備投資や稼働状況等をみても、地方の経済は依然として厳しい状況が続いているように思われる。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>